

夢や希望を持ち、めあてに向かってねばり強く学び続ける子

古道

元気・本気・根気

チーム古道・オール都路

【第7号】

平成28年 7月 8日(金)発行 文責 校長 平塚 裕二

花いっぱい活動



6/15に恒例となった「花いっぱい活動」を実施しました。

セブンイレブン記念財団様から頂いたマリーゴールド、サルビア、ペゴニア、そして、神奈川県在住の栗原様から頂いたひまわりの種を全校生でプランターや花壇に植え替えました。

近年、子供たちが花や緑にふれあい、親しむきっかけとして「花育」が注目されていますが、子供たちの優しさや美しさを感じる気持ちを育てるためにも、花壇やすずらん坂にきれいな花を咲かせていきたいものです。



野口英世出前授業

6/15に野口英世記念館の方が来校し、7/1に野口英世記念館を訪問する4~6年生に事前学習をして下さいました。

特に、野口英世の生い立ちや業績について分かりやすく説明して下さいましたので、子どもたちの知的好奇心も高まったようです。

7/1の野口英世記念館見学では、更に詳しく福島県の偉人である野口英世博士について知識を深めてきました。

和太鼓指導

6/16には、文化芸術による文化庁子供の育成事業でお出でになった荒川先生に和太鼓の指導を3~5年生が受けました。リズムカルにそして迫力ある演奏をするために必要な技術を分かりやすく教えてもらいました。



今年度も、伝統ある和太鼓の演奏を引き継いでいくため、荒川先生や坪倉先生を講師に練習を行っています。子どもたちの演奏も回を追う毎に上手になってきています。今後は楽しみです。



水泳の学習が始まりました。

6/20に児童集会でプール開きを実施し、本格的に水泳の学習が始まりました。

プール開きではそれぞれの学年代表の児童が今年の水泳学習のめあてを発表しましたが、今年は梅雨の影響も少なく、例年より多くプールに入れるのではないかと思います。

今年は「校内水泳記録会」も7/15日の授業参観に合わせて変更しました。また、岩井沢小さんと行っていた市水泳大会も「田村市小学校水泳大会(東部地区)」として、7/22に滝根・大越・常葉・都路の4地区の小学校が大越のつつじヶ丘プールに集い、泳力を競い合います。

そのため少しでも多くプールに入り、子どもたちの泳力向上に努めていきたいと思ひます。毎日水着の準備、健康カードの提出をよろしくお願ひします。



普段と違う友だちに出会えた～4・5・6年生宿泊学習

6/29～7/1 の3日間、4～6年生
31名が磐梯青少年交流の家にて

宿泊学習を行ってきました。

初日に、いきなり磐梯山登山というメニューでしたが、1人の脱落者もなく無事登頂～下山をすることができました。

以前は五十人山の登山で足慣らしをしていた古道小でしたが、震災以降は、県内有数の山にいきなりチャレンジと変わってきました。しかし、さすが普段からスポ少で鍛えている子たちが多いせいか、荷物を持ってあげたり相手のペースに合わせて歩いてあげたりと、音を上げる



どころか、助けの手を差し伸べながら登山していました。

雨天が心配な天気予報の中でしたが、キャンプファイヤーも樹木オリエンテーリングも実施できました。雨天の中の野外炊飯では、吸水時間の差によりできあがりがかかなり違うことも学びました。日常と違う環境の中で、普段と違う友だちの一面が見られ、何よりも、多くの宿泊者の中で、古道小の子たちが一番マナー良く生活できていました。最高に素晴らしい子どもたちばかりです。



いろんな生き物と触れ合ったよ～1・2・3年生遠足

上学年が宿泊学習を満喫している時、6/30に下学年は石筵ふれあい牧場とかわせみ水族館でいろいろ

な生き物と触れ合ってきました。

あいにく、雨が降ったり止んだりの天候で牧場にはそう長く居ることができなかつたため、かわせみ水族館にまで足を伸ばしました。以前のいなわしろ淡水魚館と違って、アクアマリンの水族館としてリニューアルオープンしただけあって、沢山の種類の魚を見学して楽しく過ごすことができました。



牧場作りたてのアイス

県小学生陸上競技交流大会

7/3に、福島市で開催された小学生交流陸上大会福島県選考会に地区予選を勝ち抜いた4名が参加してきました。

当日は雨が降ったり止んだりしたため、とてもじめじめと蒸し暑いコンディションでしたが、4名の子たちは、古道の名前をアピールするかのごとく、自己ベスト更新目指し精一杯競技することができました。最後までベストを尽くす姿に感動しました。

